

平成 30 年 1 月 30 日

学校教育部いじめ防止生徒指導課  
0742-34-4863

**若者の自立支援を考える！～奈良市子ども・若者計画策定事業～  
パネルディスカッションの開催について**

高校 1 年生という義務教育終了後の段階における若者の生活の状況や考え方の調査結果をもとに、引きこもり等の自立支援策における『予防』と『支援』の在り方について、討論会を通し議論を深める。

記

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 1 日（木） 午後 3 時 20 分～午後 4 時 50 分
- 2 場 所 はぐくみセンター（奈良市三条本町 1 3 番 1 号）9 階 大講座室
- 3 パネリスト（詳細は別紙）

NPO 法人 PANORAMA 理事長	いしい 石井 正宏 氏
奈良 YMCA 心理カウンセラー	やまだ 山田 静代 氏
奈良若者サポートステーションキャリアカウンセラー	あいだ 間 奈津子 氏
帝塚山大学心理学部准教授	なかち 中地 展生 氏（※コーディネーター）
愛知教育大学 講師	すし 厨子 健一 氏
奈良市立伏見中学校長	かめい 亀井 規生 氏
- 4 テーマ 「若者の自立支援策に関する義務教育段階における予防と  
義務教育終了後の早い段階における支援について」  
～高校生の実態調査をもとに～
- 5 参加対象者
  - ・奈良市立小中高等学校（管理職、生徒指導担当者、教育相談担当者など）
  - ・通信制高等学校担当者
  - ・奈良市少年指導協議会指導委員
  - ・保護者※県立、市立高等学校へもご案内させていただいております。
- 6 実態調査の概要
  - ・調査実施日 平成 29 年 7 月、11 月（2 回実施）
  - ・調査対象 高校 1 年生※平成 28 年度奈良市立中学校卒業生の中で、同意を得た生徒、保護者それぞれ 588 人に依頼
  - ① 7 月の実態調査  
生徒 284 人 保護者 285 人が回答

## ② 11月の実態調査

生徒206人 保護者211人が回答

### ・調査対象の選定理由

平成28年度に実施した、高校1年生から3年生までの実態調査アンケート結果より、高校中退者の内、約6割が高校1年生時に学校をやめているという実態があり、高校1年生の生活や学習についての実態を把握するため。

### ・調査方法 郵送によるアンケート調査

### ・主な調査項目

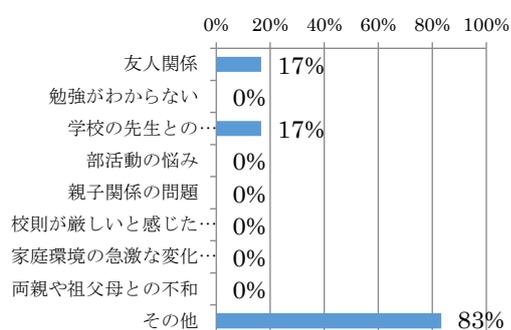
- 小中学校時の欠席日数や休み始めたきっかけ
- 義務教育段階で身につけなければならない力
- 悩み事の相談者や利用したことのある施設や機関

など25項目

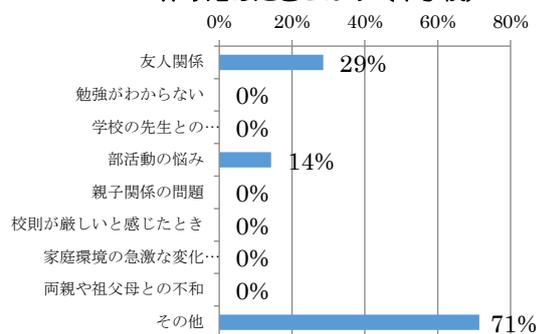
### ・主な調査結果概要と検討会議のメンバーの意見（11月実施分）

- 「休み始めたきっかけ（小学校）」の問いに、17%の生徒が「友人関係」と回答、同じく「休み始めたきっかけ（中学校）」の問いに、29%の生徒が「友人関係」と回答をしている。また「小学校段階までに身につける力」の問いに、59%の生徒が「コミュニケーション能力」と回答していることからコミュニケーション能力の獲得及び育成の必要がある。

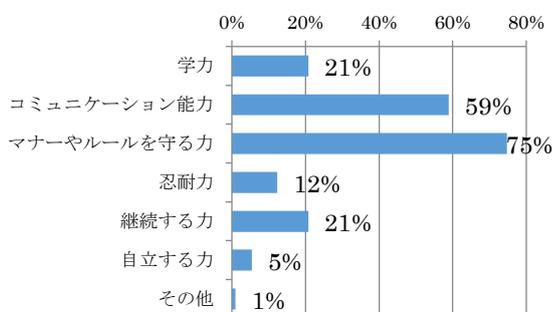
#### 休み始めたきっかけ（小学校）



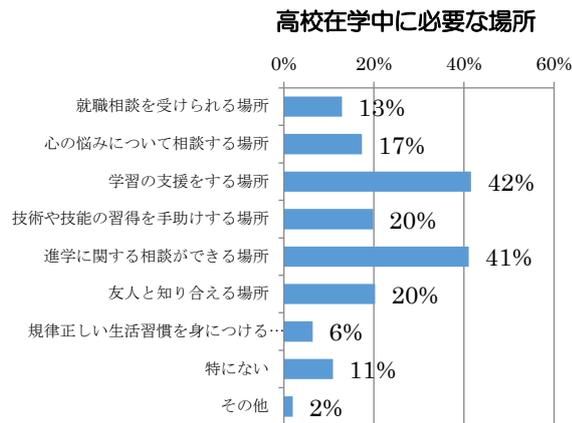
#### 休み始めたきっかけ（中学校）



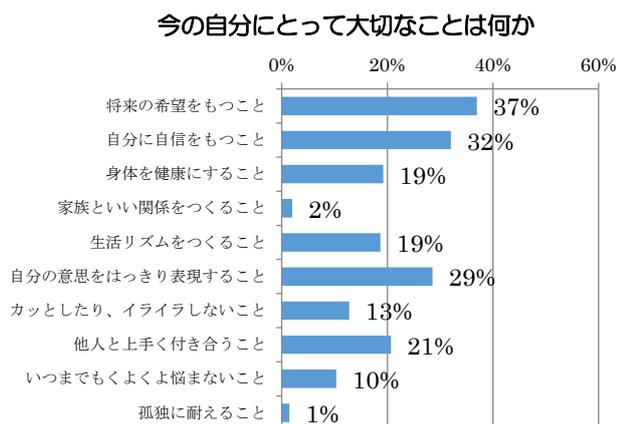
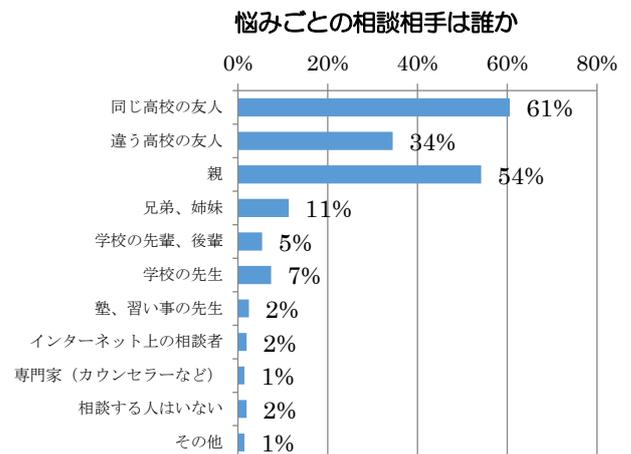
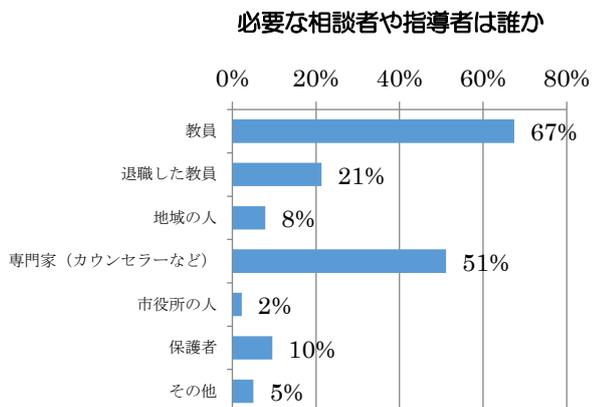
#### 小学校段階まで身につける力



- 「高校在学中に必要な場所」の問いに、「進学相談ができる場所」41%「友人と知り合える場所」20%の生徒が回答していることから、自分の将来について、落ち着いて相談できるような、居場所づくりを進めていく必要がある。



- 「必要な相談者や指導者は誰か」という問いに対して、高い割合の回答があったのは、「カウンセラー」が51%、「教員」が67%であった。しかし、「悩みごとの相談相手は誰か」という問いに対しては、「同じ高校の同級生」が61%、「親」が54%であった。このことより、専門職に相談する必要があるにも関わらず、相談できていない現実があるのではないかと考えられる。また、「今の自分にとって大切なことは何か」という問いに対して、「自分に自信をもつこと」という回答が32%と高い割合を占めた。このことは、自己肯定感が低い生徒が多いことを表していると考えられる。



## 7 次年度の取組の想定

義務教育終了後の早い段階の若者の、学び直しや就労相談窓口の設置など、パネルディスカッション当日に、検討委員会メンバーから出てくる意見をもとに、関係課で組織するプラットフォームで検討する。

## 8 その他

当日、保健所の検診日となっており、検診を受けられる方が、はぐくみセンターの駐車場を利用されますので、お車でお越しの場合は、はぐくみセンター駐車場のご利用はお控えいただき、付近の有料駐車場をご利用ください。

# 奈良市子ども・若者策定事業に関わるパネルディスカッション

## ○コーディネーターの紹介

帝塚山大学心理学部准教授 <sup>なかつちのぶお</sup> 中地展生

- ・大阪大学大学院人間科学研究科 博士前期課程
- ・九州大学大学院人間環境学府 博士後期課程
- ・博士（心理学）九州大学
- ・家族システム全体を視野に入れた心理的支援がテーマ。不登校児や引きこもり青年の家族へのグループを用いた支援を行い、その効果について研究
- ・ひきこもりサポーター養成講座講師  
(奈良市社会福祉協議会・ボランティア団体ハートハース主催)

## ○パネリストの紹介

NPO法人 PANORAMA 理事長 <sup>いししまさひろ</sup> 石井正宏

ひきこもり等の若者を支援するNPO法人で活動後、ひきこもりにさせない予防支援に取り組むため平成21年に(株)シェアするココロ設立。平成27年にNPO法人パノラマを設立し、課題集中高校での有給職業体験プログラム「バイターン」や高校内居場所カフェ等の支援を行う。平成25年度内閣府「困難を有する子ども・若者及びその他家族に対する支援の在り方に関する調査研究」企画分析委員。神奈川県立田奈高等学校及び大和東高校学校運営評議委員。横浜市就職サポートセンター・スーパーバイザー等を勤める。

奈良YMCA心理カウンセラー <sup>やまだしずよ</sup> 山田静代

- ・昭和44年4月～46年4月 星ヶ丘厚生年金病院相談室
- ・昭和46年6月～53年 神戸YMCA
- ・昭和55年～ 大阪・奈良YMCAカウンセラー
- ・平成7年月～17年 奈良県スクールカウンセラー
- ・平成6年7月～現在 奈良YMCA「心のフリースクール」創設
- ・ボランティア団体ハートハース創設

奈良若者サポートステーション <sup>あいだ なつこ</sup> 間奈津子

平成14年～大手外資系人材コンサルタント会社にて、行政・民間企業への就労キャリア支援に携わる。高齢者雇用開発機構 長期失業者就労支援事業、大阪市被生活保護者就労支援事業など行政での就労支援。キャリアカウンセラー養成講座の運営、延べ300社以上の民間企業からの早期退職者、人事・組織編制に対するキャリアコンサルタント。平成27年～スマイルスタイル（現NPO法人HELLOlife）とのご縁、現在は大阪府若者サポートステーション、奈良若者サポートステーションで無業若年者の就労支援に従事。

愛知教育大学教育学部教育支援専門職養成課程 講師 <sup>すしけんいち</sup> 厨子健一

- ・平成27年～平成28年 奈良教育大学教育学部特任准教授
- ・平成29年～ 現職
- ・専門分野 社会福祉学 スクールソーシャルワーク
- ・スクールソーシャルワーカーの専門性に関する研究、子育て支援に関する研究を行う。
- ・さまざまな研修会の講師として、子ども、家庭を福祉の視点から捉え、どのようなアプローチが可能なのかについて理解を深めることを目指している

奈良市伏見中学校校長 <sup>かめいのりお</sup> 亀井規生

- ・奈良市中学校生徒指導連絡協議会 会長